

平成28年10月21日

報道各位

新潟市環境政策課

## 佐潟20ラムサールフェスの開催について

### 1 開催趣旨

- ・佐潟が平成8年にラムサール条約湿地に登録されてから20周年を迎えたことを記念して、佐潟20ラムサールフェスと題し、「命を育む里潟を次世代に」をテーマに里潟佐潟の魅力を伝えるイベントを開催する。
- ・豊かな自然環境を有する佐潟が、本市の財産であることを市内外に情報発信し、来場する市民が佐潟の素晴らしさを体感できるイベントとすると共に、佐潟のような里潟が、本市には他にもたくさんあることも、イベントを通してPRしていく。

### 2 開催概要

#### (1) 地元編

- ア 日時 平成28年11月6日(日) 午前10時～午後4時
- イ 会場 赤塚中学校体育館、佐潟水鳥・湿地センター、他
- ウ 内容 講演会・お話し会など20の催し物を開催
  - ・今森光彦氏の講演や地元小中学生を交えたお話し会の他、実行委員会が企画した家族で楽しめる様々な事業を開催

#### (2) まちなか編

- ア 日時 平成28年11月13日(日) 午後1時30分～午後4時30分
- イ 会場 新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)能楽堂
- ウ 内容 シンポジウムの開催
  - ・椎名誠氏の基調講演、里潟の紹介、パネルディスカッション等

※詳細は別紙イベント案内チラシ及び事業計画のとおり

### 3 主催

○佐潟ラムサール条約登録20周年記念事業実行委員会(11月6日)

実行委員長 涌井晴之(佐潟と歩む赤塚の会)

副実行委員長 石黒伸夫(コミュニティ佐潟会長)

〃 川嶋宣彦(佐潟ボランティア解説員の会)

○新潟市(11月6日、13日)

お問い合わせ先

新潟市環境政策課自然保護係 小林、工藤

電話025-226-1359(直通)

11/13 まちなか編

～シンポジウム～  
里潟の魅力を語る

13:30～16:30

新潟市民芸術文化会館(りゅうとびあ)能楽堂  
350名(要申込・申込み多数の場合は抽選)

市内16の里潟紹介や、椎名誠氏の基調講演、宮城県伊豆沼、蕪栗沼、化女沼の3沼によるラムサール三角の取組や里潟の想いを語るパネルディスカッションを開催します。

基調講演



椎名誠氏

作家/元・水の駅「ビュー福島潟」名誉館長  
※パネルディスカッションにもご参加いただけます。

SCHEDULE

新潟市 里潟の映像紹介

宮城県 ラムサール三角の取組紹介

椎名誠氏 基調講演

パネルディスカッション

申込先

MAIL kansel@city.niigata.lg.jp  
FAX 025-230-0467  
ハガキ 〒951-8550 新潟市役所 環境政策課  
「椎名誠講演会申込み係」宛

住所・氏名・電話番号(連絡先)・参加人数をご記入の上お申込みください。  
申込締切:平成28年11月2日(水)必着  
当選者には整理券をお送りいたします。

市役所の「かんたん申込み」からも申込みできます!  
佐潟20 で検索!

パネルディスカッション



【コーディネーター】  
大熊孝  
新潟市潟環境研究所所長、  
水の駅「ビュー福島潟」名誉館長



嶋田哲郎氏  
宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団  
上席主任研究員



辻田香織氏  
環境省自然環境局野生生物課  
湿地保全専門官



涌井晴之氏  
佐潟ラムサール条約登録  
20周年記念事業実行委員長



若尾明弘氏  
新潟市北区自治協議会  
地域・環境部会長



篠田昭  
新潟市長

【司会】  
遠藤麻理  
フリーアナウンサー

Access

11.6(日) 地元編



赤塚中学校  
佐潟水鳥・湿地センター  
メイワサンピア

お車をご利用の場合  
■高速道路(北陸自動車道)  
「新潟西I.C.」「巻潟東I.C.」から約30分  
お車で越しの方はメイワサンピア駐車場をご利用ください。  
シャトルバスを運行します。

公共交通機関をご利用の場合  
■越後線 越後赤塚駅から徒歩約40分  
■内野駅からタクシー乗車約15分

【主催】

佐潟ラムサール条約登録20周年記念事業実行委員会  
赤塚郷土研究会、赤塚漁業協同組合、赤塚小学校、赤塚商工会、赤塚地区自治連絡協議会、赤塚中学校、赤塚・中原部保存会、潟主、(公財)新潟県都市緑化センター、コミュニティ佐潟、佐潟環境ネットワーク、佐潟鳥類標識グループ、佐潟と歩む赤塚の会、佐潟ボランティア解説員の会、JA新潟みらい赤塚支店、新潟水辺の会、にいがた野鳥の会、メイワサンピア、環境省関東地方環境事務所、新潟県新潟市

11.13(日) まちなか編



新潟市民芸術文化会館(りゅうとびあ)

公共交通機関をご利用の場合

■新潟駅からバスのご利用  
新潟駅万代口より15～20分  
萬代橋ライン(BRT)青山方面行  
「市役所前」下車 徒歩5分

お車をご利用の場合

■新潟駅万代口から15分  
■新潟空港から30分  
■高速道路(関越自動車道・磐越自動車道)  
「新潟中央I.C.」から20分  
専用の駐車場がありませんので、  
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【後援】

にいがた市民環境会議、阿賀野市、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO



市の鳥「ハクチョウ」  
シンボルマーク  
みんなで創ろう  
環境モデル都市  
NIIGATA CITY

お問い合わせ

新潟市環境部環境政策課  
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1  
TEL 025-226-1359  
FAX 025-230-0467 / MAIL kansel@city.niigata.lg.jp

# 佐潟20

## ラムサールフェス

### Sakata 20 Ramsar fes

2016 11/6 Sun

地元編

赤塚中学校体育館、  
佐潟水鳥・湿地センター 他

11/13 Sun

まちなか編

新潟市民芸術文化会館  
(りゅうとびあ)能楽堂



命を育む里潟を次世代に

【佐潟20ラムサールフェスとは】

佐潟はラムサール条約湿地に登録され、今年で20周年を迎えました。佐潟とこれまで守り育ててきた人々との関わりを見つめ直し、賢明な利用を図りながら命を育む里潟を次世代に継承していくことをテーマにみなさんと考えます。

【ラムサール条約】

水鳥をはじめとていろいろな動植物が共存する湿地の生態系を守るための国際条約です。湿地の恩恵を受けて暮らしている私たち人間も、湿地やその恵みを賢明に利用(ワイズユース)しながら、保全・共存しようという目的もあります。

潟を楽しむ13のプログラム



X17サンピア

車でお越しの方はメイワサンピアの駐車場をご利用ください。シャトルバスを随時運行します。

愛鳥センター収蔵写真展

9:00~16:30 佐潟水鳥・湿地センター 新潟県愛鳥センターが募集した「野鳥写真展」の入賞作品を展示します。

佐潟での鳥類標識調査20年の歩み 環境から探る「小鳥の渡り」

9:00~16:30 佐潟水鳥・湿地センター 佐潟はハクチョウなど水鳥の越冬地として有名ですが、岸辺に広がるヨシ原は小鳥にとっても重要な餌場・隠れ家として役立っています。ヨシ原で長年行ってきた小鳥の標識調査の様子を結果と共にパネルやパンフレットで紹介。目立たない小鳥にも目を向け、佐潟の大切さを広く知っていただきたいと思ひます。12:00、14:00からは解説会を行います。

秋の佐潟観察会(佐潟公園)

7:00~8:00 ハクチョウ観察会 11:00~12:00 秋の佐潟観察会 15:00~16:00 ハクチョウのめぐり入り観察会 各回とも佐潟水鳥・湿地センター集合 早朝のハクチョウ観察会や、秋の佐潟の自然観察会など、生きものに詳しい講師がみなさんをご案内します。[荒天中止]

水を楽しむワークショップ

1 「水と遊ぼう!ミズリンピック」 10:00~11:00 佐潟水鳥・湿地センター 小学生対象(主に低学年を中心)に先着20名 体験型の水教育プログラム「プロジェクトWET」の一つ、水リンピックを実施します。水に関するゲームを通して、身近な水の特性に気づきます。 2 「水を知ろう!驚異の旅」 11:00~12:00 佐潟水鳥・湿地センター 小学生対象(主に高学年を中心)に先着20名 子どもたち自身が水の分子となってサイコロを転がし、地球上の水循環を疑似体験する驚異の旅を実施します。水に関するアクティビティを通して、水の循環について想いを巡らせます。

コイ汁の振る舞い 地元野菜の物販

11:30~13:00 佐潟水鳥・湿地センター周辺 佐潟で昔から親しまれているコイ汁の振る舞いのほか、地元野菜、漬け物などの物販を行います。 ※コイ汁はなくなり次第終了。

赤塚中学校体育館

「赤塚水辺の古代遺跡」と題して講演会 10:30~11:30 赤塚中学校体育館ステージ 文化財センター職員が、水辺の奈良・平安時代の遺跡の特徴を解説します。

水辺の要所、赤塚の遺跡を紹介!

10:00~16:00 赤塚中学校体育館2階ギャラリー 赤塚地域の遺跡「四十石遺跡」「大藪遺跡」「前田遺跡」の出土品を展示します。 展示解説会(30分)を11:30、13:00、15:30から行います。

明治時代の中原家 収蔵品地図の展示

10:00~16:00 赤塚中学校体育館2階ギャラリー 中原家に収蔵されている佐潟を含む赤塚耕地の図面、乳ノ湯開拓耕地の図面などを初公開で展示します。

佐潟なりわい観測舎(アトリエワン)

10:00~16:00 赤塚中学校体育館2階ギャラリー 水と土の芸術祭2015のベースキャンプに出品したアトリエワンの作品(風景画)を展示します。

佐潟の暮らレ〜潟の恵みと歴史文化〜

10:00~16:00 赤塚中学校体育館1階ギャラリー・2階ギャラリー 佐潟の古写真をはじめ、潟の屏風など、里潟佐潟の歴史的資料などを展示します。(適宜、担当スタッフが解説します)

佐潟の20周年を振り返る

10:00~16:00 赤塚中学校体育館1階ギャラリー 佐潟がラムサール条約登録に至るまでの経緯やこれまでの歩みを年表、パネルにまとめて展示します。

佐潟ぐるり今昔20年

10:00~16:00 赤塚中学校体育館1階ギャラリー 佐潟周辺でラムサール条約に登録した20年前の写真と現在の様子をおわせて展示。佐潟と赤塚がどのように変わったのか変化と発展を比較します。

佐潟に関する写真展

10:00~16:00 赤塚中学校体育館1階ギャラリー 佐潟に関連する写真展を開催します。

潟を知る7のプログラム

写真家今森光彦氏講演会&「お話し会・佐潟を語る」

13:30~15:30 赤塚中学校体育館ステージ 300名(要申込・申込み多数の場合は抽選)

人が関わって守られてきた自然をテーマとした、写真家の今森光彦氏による基調講演をいただきます。また、赤塚小学校、赤塚中学校の児童・生徒による発表会や、これからの佐潟の想いを語るお話し会を開催します。



Profile

滋賀県出身の写真家。琵琶湖をのぞむアトリエで、自然と人との関わりを「里山」という空間概念で追い続ける。また、自然の形をハサミひとつで鮮やかに切り出すペーパーカットアーティストとしても知られる。

申込先

MAIL kansei@city.niigata.lg.jp FAX 025-230-0467 ハガキ 〒951-8550 新潟市役所 環境政策課 「今森光彦講演会申込み係」宛 住所・氏名・電話番号(連絡先)・参加人数をご記入の上お申込みください。 申込締切:平成28年10月26日(水)必着 当選者には整理券をお送りいたします。

市役所の「かんたん申込み」からも申込みできます!

佐潟20 で検索!



参加者

- 今森光彦氏(写真家) 赤塚小学校児童代表 赤塚中学校生徒代表 浦井晴之氏 佐潟ラムサール条約登録20周年記念事業実行委員長

SCHEDULE

- 赤塚小学校による発表 赤塚中学校による取組発表 今森光彦氏 基調講演 これからの佐潟を語るお話し会

新潟市16の里潟紹介

10:00~16:00 赤塚中学校体育館1階ギャラリー 本市に点在する16の里潟の位置や成り立ちなどをご紹介します。

里潟学術研究発表

10:00~16:00 赤塚中学校体育館1階ギャラリー 平成27年度に本市が委託した里潟学術研究事業の結果を展示発表します。12:15~13:15には、研究者から成果内容を聞くことができます。



市の鳥「ハクチョウ」紹介

10:00~16:00 赤塚中学校体育館1階ギャラリー 新潟市の鳥「ハクチョウ」の制定経緯や、なぜ市の鳥がハクチョウなのか、などをパネルで解説します。

全国ラムサール条約湿地紹介

10:00~16:00 赤塚中学校体育館1階ギャラリー 佐潟をはじめとして全国に50ヶ所あるラムサール条約湿地を紹介します。

「潟の記憶」上映会

9:00~16:00(途中休憩あり) 佐潟水鳥・湿地センター 潟環境研究所が制作した佐潟、福島潟、鳥屋野潟、上堰潟とそこに関わる人々の生業や想いをまとめた映像を放映します。

スタンプdeサカタ

10:00~16:00 佐潟水鳥・湿地センター 赤塚中学校体育館、メイワサンピア 佐潟水鳥・湿地センター、赤塚中学校体育館、メイワサンピアの各会場をまわりスタンプを集めよう! 2つ以上集めた方には記念品をプレゼント。